

第1章 調査概要

1. 目的

- 「人づくり革命」では、人生100年時代を見据え、幼児期からの教育、さらには社会人の学び直しに至るまで、生涯を通じて切れ目なく質の高い教育が提供されることの必要性が打ち出された。
- こうした動きを踏まえ、本調査は、①性差や性別役割分担意識等の環境要因が進路選択に与える影響と②社会人の学びの実態を調査・分析することにより、多様な選択ができる学びを促し、学びの機会を充実するための方向性を考察しようとするものである。

2. 調査概要

(1)インターネット・モニターによる個人の意識調査

①目的

- インターネット・モニターによる個人の意識調査(以下、「モニター調査」という。)では、ア)女性の進路や学業の選択に性差・性別役割分担意識などの要因が与える影響を把握するとともに、イ)学び直しの実態を把握することを目的とした。

②調査概要

- 社会人の学び直しの実態等を把握する調査であることから、大学卒業後の年齢となる22～59歳までを対象として調査を行った。
- 調査項目は、a)就労以前の学歴やその他の生育環境、b)現在の就労状況及びキャリアに対する意識、c)現在の学び直しの行動実態や意向、d)ジェンダー意識の、大きく4つの項目に分類される。
- 項目a)、b)及びd)は目的ア)に関わる項目であり、項目c)は、目的イ)の学び直しの実態把握のための設問項目である。目的ア)の分析は、学び直しの行動に対して就労や学歴が影響を及ぼしており、さらに就労や学歴に対しては生育環境やジェンダー観が影響を及ぼすという階層構造を仮説として進めた。

③検討委員会

- モニター調査の実施にあたっては、有識者からなる検討委員会を設置した。

氏名	所属
主査 眞鍋 倫子	中央大学文学部 教授
筒井 淳也	立命館大学産業社会学部 教授
萩原 牧子	株式会社リクルート・リクルートワークス研究所 主任研究員

- 検討委員会は、調査項目や分析等に関する助言をいただく機関であり、全2回、以下の内容にて実施した。

回	日時	主な議題
1	平成30年12月17日(月)	○調査項目の検討
2	平成31年1月25日(月)	○集計結果(単純集計、性別・年代別クロス集計)の報告 ○今後の分析方針について

④設問項目

○調査項目は以下のとおりである。

事前調査

no	項目	設問文
1	就労状況	あなたは現在、働いていますか。
2	就業経験	あなたはこれまで、学校に通わずに働いていた時期はありますか。
3	最終学歴	あなたが、はじめて社会人になる前に卒業した学校を教えてください。

本調査

no	項目	設問文
1	結婚の有無	あなたは、結婚していますか。
2	子どもの有無	あなたが現在同居しているお子さんのうち、最も年齢の低い方(末子)を教えてください。
3	世帯構成員の年収	あなたや配偶者・パートナー、その他の世帯構成員の1年間の収入または利益(税込み)を教えてください。
4	働いていない(有償労働をしていない)人の今後の就労意向	あなたは今後、働きたいと思いますか。
5	役職	あなたの勤務先での役職を教えてください。
6	働いている(有償労働をしている)人の今後の就労意向	あなたは今後、どのような職業生活を送りたいと思いますか。
7	働いている(有償労働をしている)人の継続意向	あなたは、いまの仕事(職場)を続ける上で、具体的にどのような職業生活を送りたいと思いますか。
8	働いている(有償労働をしている)人の転職意向	あなたは、どのような勤め先に移動したいですか。
9	働いている(有償労働をしている)人の起業・創業意向	あなたは、どのように起業・創業したいと思いますか。
10	働いている(有償労働をしている)人の休業・退職意向	あなたは、仕事を休む、ないしは辞めてから、どのようなことをしたいですか。
11	就労状況に対する満足度	あなたは現在の仕事、ないしは仕事をしていないことに満足していますか。
12	学校で学んだことと仕事のつながり	あなたが、大学等の教育機関で学んだこと・経験したことは、現在の仕事に活かされていると思いますか。
13	仕事のスキルの習得場所	あなたは、仕事のために必要な知識や技能をどこで身につけましたか。
14	生まれ育った地域	あなたが、中学校を卒業するまでに、最も長く住んでいたのはどこですか。
15	母親の過去の就労状況	あなたの母親は、あなたが生まれてから18歳になるまでに働いていましたか。
16	学力に対する自己評価	あなたは、中学生・高校生の頃に学力に自信がありましたか。
17	出身校の進学率	あなたが通った高校の同級生のなかで、大学や短大に進学した人はどのくらいいましたか。
18	好きだった科目	あなたの中学生・高校生の頃に好きだった科目を教えてください。
19	進路選択で重視した点	あなたは、社会人になるまでの進学に際して、どのようなことを重視して学校を選びましたか。

no	項目	設問文
20	進路選択への影響	あなたが働く上でのイメージや進路選択において影響を受けたものは何ですか。それぞれの時期において影響を受けた人や物を3つまで教えてください。
21	最終学歴に対する満足度	あなたは、自分の最終学歴となる学校の選択について満足していますか。
22	不満足の原因	あなたが満足できる進路選択ができなかった理由を教えてください。
23	育て方におけるジェンダーバイアス	あなたは、子どもの頃に親や家族から、勉強や進路、将来のことについて、「男の子だから」、「女の子だから」というように、性別を理由に制約を受けたことや、何かを推奨されたことはありますか。
24	社会人の学び直しの機会	あなたは、学校を卒業して以降、何かを学ぶ機会がありましたか。
25	社会人の学び直しの実態（現在）	あなたは、過去1年間で、何かを学びましたか。
26	仕事に関する学び直しの目的	あなたが、仕事のために学んだ／学んでいる主な理由を教えてください。
27	仕事に関する学び直しの方法	あなたは、仕事のために、どのような方法で学びましたか／学んでいますか。
28	仕事に関する学び直しの現在の効果	あなたの学習活動は、現在、仕事やキャリアアップ・転職、再就職などに活かしていると思いますか。
29	仕事に関する学び直しの将来的な効果	あなたの学習活動は、将来的に、昇給・昇進ないしは転職・独立等のキャリアアップにつながると思いますか。
30	仕事に関する学び直しのハードル	あなたが、仕事のためにより充実した学習活動（職場で提供される研修等の機会を除く）をするために必要なことは何ですか。
31	学び直しの機会の認知	仕事のための学びのための機会や方法について、あなたが知っているものを教えてください。
32	仕事以外の活動のための学び直しの方法	あなたは、家庭や地域活動・社会貢献活動、また自分の趣味や興味・関心のために、どのような方法で学びましたか。
33	仕事以外の活動のための学び直しの効果	あなたは、家庭や地域活動・社会貢献活動、また自分の趣味や興味・関心のために何かを学ぶことの主な効果はどのようなものだと思いますか。
34	仕事以外の活動のための学び直しを実践につなげる際のハードル	あなたが、学んだことを地域活動や社会貢献活動に活かそうとする上で主に困ったことを教えてください。
35	仕事以外の活動のための学び直しのハードル	あなたが、家庭や地域活動・社会貢献活動、また自分の趣味や興味・関心のための学習活動をしなかった主な理由は何ですか。
36	性別による役割分担に対する考え方	あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」という考え方についてどのように思いますか。
37	女性の育児に対する考え方	あなたは、「女性は子どもが生まれたら仕事を辞め、育児に専念するべきである」という考え方についてどのように思いますか。
38	性別に合った職業があるとする考え方	あなたは、「男性は男性に、女性は女性に合った職業がある」という考え方についてどのように思いますか。
39	女性の望ましいライフコース	あなたは、女性にとって望ましい結婚や就業のあり方を、どのように考えていますか。あなたの考えに最もあてはまるものをお選びください。

(2)ヒアリングによる事例調査

①目的

○ヒアリングによる事例調査(以下、「ヒアリング調査」という。)では、女性を対象としたリカレント教育を実施する大学等を対象として、①女性の学び直しの機会を提供する問題意識と②機会提供側からみた学び直し及び就労との関係を把握することを目的とした。

②調査概要

○地方における女性の学び直しや就労の実態を把握するため、ヒアリング先は首都圏以外の大学を条件として選定した。

○文部科学省による「高度人材養成のための社会人学び直し大学院プログラム」や「職業実践力育成プログラム(BP)認定制度」の枠組みでリカレント教育を実施する大学を中心として、次の大学にヒアリングを行った。

大学名称	事業名称	事業概要
関西学院大学	ハッピーキャリアプログラム	女性のキャリア形成のための学習機会を提供することを目的として開講している。キャリアアップを目指す就業中の女性を対象とした「女性リーダー育成コース」と、復職・起業を目指す休業・離職中の女性を対象とした「女性の仕事復帰・起業コース」がある。
京都女子大学	リカレント教育課程 (大学連携京都リカレント)	京都府、株式会社オムロンエキスパートリンク、京都女子大学が連携し、復職を目指す女性を主たる対象として開講している。
福岡女子大学	イノベーション創出力を持った女性リーダー育成プログラム	女性のキャリアアップに必要な課題解決能力を身につけることを目的とし、ワークショップを組み込んだカリキュラムを実施している。
山梨大学	女性のためのインターンシップ型ステップアッププログラム	復職や起業を目指す女性を対象として、市内企業等へのインターンシップを組み込んだカリキュラムを実施している。

※山梨大学の事業は、厚生労働省委託事業「平成29年度～平成31年度労働者等のキャリア形成・生産性向上に資する教育訓練プロジェクト事業」実証プログラムとして、同事業を受託するPwCコンサルティング合同会社法人が実施している。

○ヒアリングの主な項目は以下のとおりであり、事業の背景や内容に加えて、受講している女性についても尋ねた。

- ・事業の趣旨・背景
- ・プログラムにおける工夫
- ・受講している女性の特徴
- ・講座参加後の進路と支援